

高等学校 令和7年度（6学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究A

教科：地理歴史 科目：日本史探究A 単位数：2 単位
 対象学年組：第6学年 A組～C組
 教科担当者：（A組：野付）（C組：野付）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（日本史探究（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：
【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史や文化に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

| 科目 日本史探究A | の目標： |
|---|---|
| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 |
| 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、時期・年代や国内の関係だけでなく、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえて理解し諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 我が国の歴史の展開に関する事項について、時期や年代、事項の推移、事項の相互の関連性について、身につけた知識をもとに多面的・多角的に考察したり、考察した結果を論理的かつ効果的に説明したり、議論したりする能力を身に付けるようにする。 |
| | 【学びに向かう力、人間性等】 |
| | 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、見つけた課題を自国・他国の歴史と関連させ、より良い解決を図る方法を考えるなど、時代に主体的にかかわろうとする姿勢を育成する。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|--|---|---|---|---|----------|
| | | | | | | |
| A 単元：恐慌と第二次世界大戦 恐慌の時代・軍部の台頭 【知識及び技能】 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 満洲事変や国内の国家改進黨の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究する | 日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。また、恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。 ワークシート、資料集、史料集 | 【知識・技能】 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 【思考・判断・表現】 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 満洲事変や国内の国家改進黨の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。 | | | | 10 |
| B 単元：恐慌と第二次世界大戦 第二次世界大戦 【知識及び技能】 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦争がアメリカやイギリスなどの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとする | 日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。また、第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。 ワークシート、資料集、史料集 | 【知識・技能】 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 【思考・判断・表現】 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。 | | | | 8 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| C 単元：占領下の日本 占領と改革 【知識及び技能】 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省を支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとする | 戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれにもともなう諸改革について、その経過と内容を理解する。また、戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。 ワークシート、資料集、史料集 | 【知識・技能】 第二次大戦後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 【思考・判断・表現】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省を支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。 | | | | 10 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| D 単元：占領下の日本 冷戦の開始と講和 【知識及び技能】 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革 | 東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結して日本が独立した意義を考える。また、連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。 ワークシート、資料集、史料集 | 【知識・技能】 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 【思考・判断・表現】 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。 | | | | 8 |
| E 単元：高度経済成長の時代 55年体制 【知識及び技能】 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・L.T貿易・日韓基本条約・沖繩返還問題などの外交事象がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとする | 独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。また、冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。 ワークシート、資料集、史料集 | 【知識及び技能】 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・L.T貿易・日韓基本条約・沖繩返還問題などの外交事象がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。 | | | | 8 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|---|---|--|---|---|--|----|---|
| F 単元:高度経済成長の時代 経済復興から高度経済成長へ 【知識及び技能】 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出すことができる能力を養う。 | 朝鮮特需による経済復興とその後的高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。また、消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。 ワークシート、資料集、史料集 | 【知識及び技能】 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出すようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 | |
| | | | G 単元:激動する世界と日本 経済大国への道 【知識及び技能】 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究する能力を養う。 | ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。また、高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。 ワークシート、資料集、史料集 | 【知識及び技能】 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。 | ○ | ○ |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 2 学 期 | H 単元:激動する世界と日本 冷戦の終結と日本社会の変容 【知識及び技能】 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究する能力を | 冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。また、科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。 ワークシート、資料集、史料集 | 【知識及び技能】 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査 | | | | | | | |
| | | | | | | 合計 | |
| | | | | | | 70 | |